

■大辻司郎 活動弁士で人気、“漫談”創始して漫談家となり、戦後も話題ふりまいたが、飛行機事故で没した。

おおつじしろう

白馬会・・・1896＝ 東京・日本橋で株屋の子に生まれる。本名は四郎。

日露戦争終・・・1905＝ 9歳：

明治天皇没・・・1912＝16歳：

第一次大戦始1914＝18歳：

甲洋学舎卒。父親がやっていた尾張屋という株屋の下働きを経て、
民本主義・・・1916＝20歳：*徴兵検査で甲種合格となり、兵役を逃れようと、弁士染井三郎に弟子入り、東京浅草の帝国館で初舞台。

洋画喜劇を得意とし、ぼつりぼつりと語る口調で、松井翠声・徳川夢声らとともに人気を博し、「胸に一物
、手に荷物」「勝手知ったる他人の家」などの迷文句と奇声で有名になるが、

原敬首相暗殺1921＝25歳：

関東大震災・・・1923＝27歳：_大震災で映画が映らなくなった際、その場つなぎのおしゃべりで客に喜ばれ、漫談という話芸が生まれ、
護憲三派圧勝1924＝28歳：*漫談家として再出発。

円本時代始・・・1926＝30歳：_漫談の名称は弁士たちの隠し芸大会“ナヤマシ会”で、徳川夢声が大辻の例にならって一人語りをした際、
大辻が名づけたと伝えられ、自分でも漫談宗家と名のる。

金融恐慌・・・1927＝31歳：

満州事変・・・1931＝35歳：日本で最初の本格的トーキー映画「マダムと女房」が封切られるなど、_しだいに弁士の出番が少なくなった
ため大衆演劇への転向をはかり、

五一五事件・・・1932＝36歳：

国際連盟脱退1933＝37歳：*古川緑波、徳川夢声らと{笑の王国}を結成する。この頃から、おかっぱ頭をトレードマークにする。

自己のPRについては独特の才能があり、

日中戦争始・・・1937＝41歳：

日米開戦・・・1941＝45歳：

敗戦・・・1945＝49歳：

戦後は自分の奇声に保険をかけ話題をふりまいた。

朝鮮戦争始・・・1950＝54歳：

独立回復・・・1951＝55歳：

マーデー事件・・・1952＝56歳：*長崎平和博に行く途中、搭乗機もく星号が伊豆大島の三原山に衝突して、_没した。